

① 港南台地域は 1970～1980 年の 10 年間に開発・・・横浜市港南区港南台 9 丁目



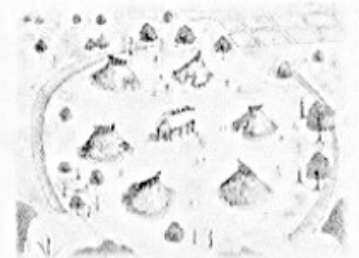
横浜市最大級の団地開発

300ha (後楽園球場 26 個分)
12000 戸 / 47000 人
幼稚園：5
小学校：6
中学校：3
高校：1



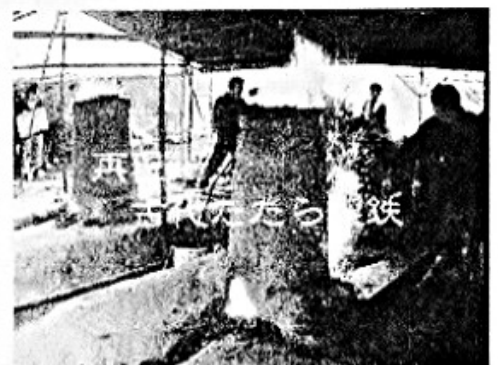
② 今から 2000 年前 (弥生時代) この地には既にいくつもの集落があった。

- 明朋高校の西北(港南台西公園)及び西側(おおりり団地)には弥生中期の竪穴住居跡があった。(下図の○位置は住居跡の見つかった遺跡)
- 港南台地域には○印の現環状 3 号線沿いの他、港南台東側(南部病院、港南中央公園など)にも遺跡群が認められている



③ 今から 1300 年ほど前(奈良時代)
この地は南関東の先進技術基地の一つだった。

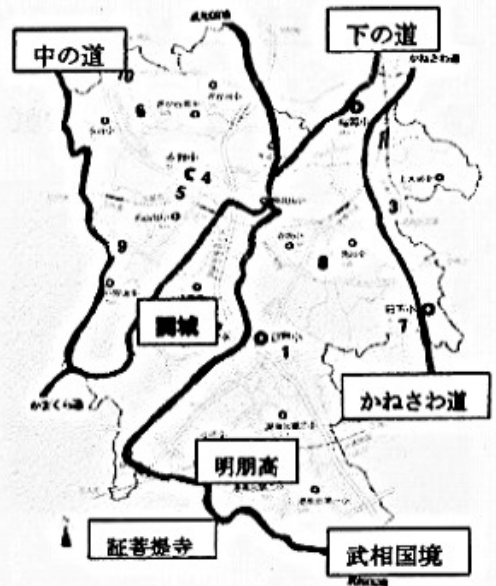
- 明朋高校は相模・武蔵国の国境上に建つ
- 明朋高校敷地の南端に横穴墓古墳が残っている。
- 国境沿い近傍に古代製鉄遺跡がある。上郷猿田遺跡(栄高校敷地内)と深田遺跡(同校前)
- 国境に道を造り、資源搬送や交流に活用



④ 今から 800 年ほど前(鎌倉時代)

港南の地は鎌倉への街道が通ると共に北の守りの地であった。

- 鎌倉への街道『いざ鎌倉の道』3本のうち中の道と下の道が当地域を通っていた。
- 『かねさわ道』明治中期まで江戸(東京)と鎌倉・三浦半島を結ぶ主街道
- 野庭に砦『関城』があり、明朋高南低地に武器庫の証菩提寺があった。



⑤ 今から 500 年ほど前(戦国時代) 当地域は小田原城主北条一族の支配下に入る。

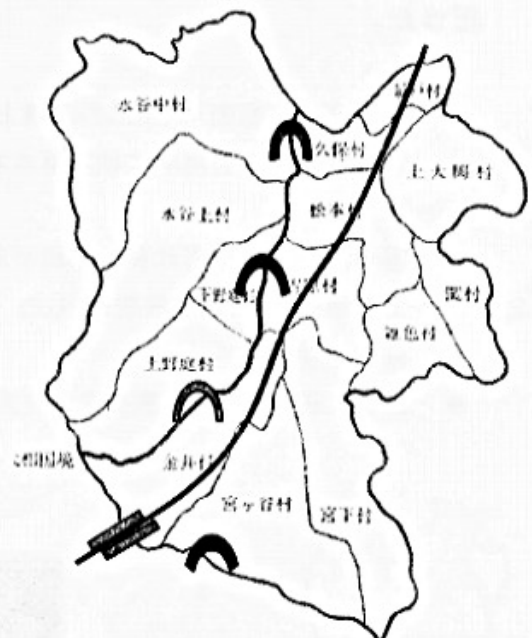
- 武蔵国 (笹下)北条氏家臣相模十四衆筆頭 間宮氏が領主・・・笹下城を造る
- 武蔵国 (日野)北条早雲の四男幻庵の所領地となる・・・小田原忍者『風魔』の拠点
- 相模国 (永谷)関東管領の流れをくむ宅間上杉氏が領主・・・上永谷天満宮創建
- 相模国 (野庭)北条氏配下で鎌倉から移入した臼居氏・・・北鎌倉・東慶寺領

⑥ 今から 150 年ほど前(幕末から明治へ) 横浜開港により静かな農村に変化が起こる。

横浜港市場へ向けて物資(食料、燃料、花々など)輸送の必要から住民自ら横浜への街道を整備した(これが今の鎌倉街道)

- 幕末 武蔵国側は 10ヶ村、相模国側は 4ヶ村で 約 500 戸(約 3000 人)の農家が点在。静かな農村。
- 街道かねさわ道周辺の村では兼業農家が増え、裕福な村は領主に金を貸すほどであった
- 開港による新しい市場へ向けて村は動き出す。特徴的に住民自ら横浜へ向けて物流の道造りを行う

- ⇒七曲切り通し工事や大岡川への架橋工事を行い横浜への新街道(現鎌倉街道)
- ⇒各村から街道へ出るため国境の山に 4か所トンネルを掘る(現存は野庭の迎陽トンネル)



⑦ 参考：港南区データ(2013 年 4 月)

- 人口 218214 人(横浜市 18 区中 7 番目・・・人口密度は 3 番目)
- 世帯数 90266
- 住宅数 89030 戸
- 区の花(ひまわり、アジサイ、桔梗)、区の木(くろがねもち)、区の鳥(シジュウガラ)